

R8 重点課題の評価

東加積小学校アクションプラン -1-	
重点項目	学習指導
重点課題	基礎基本技能の習得
児童の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高学年より低学年の方が、意欲的に学習に取り組んでいると考える児童が多い。 ・「授業の時、先生や友達の話をしっかり聞いて聞いている」授業で分からないことがあれば、先生や友達、家の人に聞いて、分かるようになるうと努力している」、児童が多い。 ・「授業の時、丁寧に文字を書いている」に課題がある。
具体目標 数値指標	漢字・計算の基礎技能の習得率80%以上の児童が80%
方策	<p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習形態を工夫するなど、少人数のよさを生かして、児童一人一人が技能を習得できるような授業を行う。 ・漢字の効果的な覚え方の指導方法について、共通理解を図る。 ・ノートの書き方の学年の段階に応じた指導について共通理解を図る。 ・ネットドリルで間違えた問題等に重点的に取り組みなど、ICTの活用を図る。 <p>〈練習方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃からモジュールの時間を利用するなど、各学級で漢字・計算練習に繰り返し取り組む。支援が必要な児童には個別指導を行うなど、極端に落ち込みが見られないように配慮する。 ・前期の評価テスト(単元テストのまとめ問題50問等)やチャレンジテスト(1月下旬)に向けて、担任が学級の実態に応じた問題に取り組ませ、習熟を図る。 ・評価テストやチャレンジテストに満点で合格した児童は、全校児童の前で表彰する。 <p>〈家庭学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手本となるようなノートの例を積極的に紹介する。 ・家庭でも評価できるように「学校教育アンケート」に、「子供は、基礎基本が定着している。」という項目を加えて、「3「ややそう思う」4「そう思う」と答える保護者の割合を報告し、啓発する。

東加積小学校アクションプラン -2-	
重点項目	徳育指導
重点課題	自ら考え進んで働く児童の育成
児童の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の集会は楽しみながら参加している児童が多い。 ・しかし、集会の感想を言う児童は同じ児童が多い。 ・あいさつ運動やぼかぼかの木に取り組む児童も同じ児童が多い。
具体目標 数値指標	委員会からのお知らせや活動に進んで参加することができる児童が70%
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ運動に進んでとりくんだ」「あいさつ運動で名前を呼ばれた」「ぼかぼかの木にとりくんだ」「ぼかぼかの木に名前を書いてもらった」「各委員会の集会に進んでとりくんだ」の目当てをもとに、自己評価をする。その基準として、あいさつ運動、ぼかぼかの木については各学期に1回、各委員会の集会については活動の後に振り返りカードに記入して、その内各項目が5～6個中3割以上できていれば達成とする。 ・毎学期の終わりに確認する。 ・各委員会が集会のめあてを示し、全校が楽しく進んで活動できる企画を考える。 ・道徳や学級活動に「あいさつをする」「いいところみつけ」についての内容を取り入れる。 ・集会に参加する前に集会のめあてや活動内容について話し、自分から進んで取り組めるようにする。

東加積小学校アクションプラン -3-	
重点項目	健康・安全指導
重点課題	運動・遊びの日常化
児童の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ3015を活用し、体を動かして遊んだり、運動に意欲的に取り組んだりする子供たちが多い。 ・体力テストを見ると、全体的に市の平均より高いが、50m走、上体起こし、立幅跳びで平均をやや下回っている学年が複数ある。また運動技能の個人差も大きい。 ・身体を使ってたくさん遊んだり、毎日運動したりしたらよいと考えている。 ・苦手な運動にも、あきらめずに練習したいと考えている。
具体目標 数値指標	「縄跳びカード」を使用し、前期、後期とも学校が指定した標準目標を超える児童が80%以上 前期：1年…19級、2年…17級、3・4年…15級、5・6年…13級 後期：1年…17級、2年…15級、3・4年…13級、5・6年…11級
方策	<p>〈体育の授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを伝え、みんなが参加し、一人一人が活躍できるルール作りを工夫することで、運動好きの子供を育成する。 <p>〈さわやかタイム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火曜日と木曜日の業間に活動する。 ・年間を通して体育館で、両足跳び、駆け足跳び、連続跳び、駆け足連続跳び、交差跳び、駆け足交差跳び、二重跳び(各前跳び、後ろ跳び)の中から自分で選んで練習を行う。また、各学期に1回ずつ縄跳び大会を開催し、得意な技で長く跳べた児童を表彰する。体育の準備運動、休み時間の遊びなど、日常的に取り組む、技能向上を目指す。 ・タブレット上の「なわとび級表」を活用したり、異学年交流をしたりして、楽しみながら取り組めるようにする。 <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズム委員会が中心となって、体調管理・健康増進につながる活動に取り組む。 ・各委員会が集会を企画し、異学年の運動に取り組む。子供は、よく運動したり外で遊んだりしている。 ・「学校教育アンケート」で「子供は、よく運動したり外で遊んだりしている。」の項目を質問し、「3「ややそう思う」4「そう思う」と答える保護者の割合を報告し、啓発する。 <p>(富山元気っ子3015チャレンジ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット上の3015アプリを活用することで、自分の頑張りを視覚化したり応募プレゼントを励みにしたりできるので、年度初めに呼びかける。